

地元農畜産物を子どもたちへ 食の大切さを伝える



地元農畜産物に親しんでもらう食農教育の一環として、北見市、訓子府町、置戸町の1市2町へ地元産の玉ねぎとじゃがいもを送っています。送られた玉ねぎとじゃがいもは、食農教育パンフレット「玉ねぎちゃんとじゃがいもくん」とともに、保育園や小学校の給食用として子どもたちに届けられています。

また、JA名に「みらい」を冠したJAのつながりで、JA津軽みらい地域の子どもたちにも、玉ねぎとじゃがいもを送りました。JA津軽みらいからは、美味しいりんごが届けられ、北見地域の小学校や保育園へプレゼントされました。

原材料は全て北海道産で、添加物不使用、アレルギーを極力減らしたコロッケを開発し、地域の学校給食で提供されています。子どもたちに安全・安心で、おいしい地域の食を味わってもらうために地元の栄養士の方や組合員の女性組織の意見を反映し、開発しています。



農家組合員・地域住民とのつながり

農家の経営者の方、後継者の方、またパートナーの方などそれぞれのコミュニティがあり、積極的に活動しています。農業技術を学ぶための視察・技術研修、農業情勢に対する学習会など様々な研修・交流会を行っています。

また、作る人(生産者)と食べる人(消費者)との距離が近く、食育活動や収穫祭などの各地域での催しにも積極的に参加しています。



農村地域ならではの魅力

地域の魅力を発信するために

きたみらい地域の魅力を多くの人に発信するために、Facebookやホームページ、メディアへの出演等、広報活動を積極的に行っております。

また、「地元農畜産物の収穫の喜びを消費者に届けたい」という思いから地域の皆さまへ向けた地域行事を催しており、コロナ禍の状況下では、感染症対策を講じた中で開催をしております。

また、北海道北広島市にある「くるるの杜」や東京都にある「JA東京アグリパーク」にてJAきたみらいの農産物やオリジナル加工商品の販売を行い、北海道内、本州の消費者の皆さまへきたみらいの農畜産物を届けています。



フードバンク活動への取り組み

フードバンク活動は一般的に、個人(家庭)や企業でまだ食べられるのに処分されてしまう食品を困っている人へ届ける活動を指し、コロナ禍以降、この活動の重要性が増してきております。

行動制限や外出自粛に伴うアルバイトの減少に悩む地元の大学生を中心にフードバンクを通じて、きたみらい酪農振興協議会より乳製品を当組合より加工品を寄贈させていただきました。

このような状況下にならなければ生まれなかった取り組みですが、当組合地域で生活している学生の皆さんとの貴重な交流になりました。



高橋 大 令和2年入組 畜産部畜産振興グループ

業務について

- 酪農畜産補助事業
- 地域酪農畜産業の振興活動

担当職員の一として

普段の業務では酪農・畜産の補助事業を取り扱っており、これまで得た知識や経験を基に生産者に事業を提案し、サポートすることを心掛けています。

また、「きたみらい牛乳」を活用し、地元飲食店や関係施設と協力し、地域の方々により身近に地元の酪農・畜産に触れて頂けるような活動も行っています。

これからも生産者のサポートはもちろん、地域の方々と生産者、生産物をつなぎ、「食べること」を通じて地域振興に努めていきたいです。

行政と一体となった農業振興

1市2町の首長、共済組合、普及センター、JA等で構成されている「北見地区農業振興連絡協議会」があり、農業者のための農業技術研修や担い手対策への支援、地域の方々に対して地産地消の取り組みや食育の取り組みに対する支援を地域全体で行うために協議・活動をしています。

北見地区農業振興連絡協議会

北見市・訓子府町・置戸町・NOSA北海道オホーツク統括センター・JAきたみらい

- 担い手地域振興情報部会
- 農業・技術部会
- 畜産部会

農業の魅力を伝えたい



未来を担う子どもたちに第1次産業である農業の重要性や食の大切さを理解してもらい、関心を深めてもらうため、植付けから収穫食べるまでを実際に行う農業体験活動や親子で参加する農業体験見て歩きツアーなどを開催しています。



このようなイベントを通じて、食や農業に対して興味を持ち「将来農業に携わりたい、食に関わる仕事がしたい」と思ってもらえるように願っています。

一市二町の小学校に教材本を贈呈

私たちの生活に欠かせない「食」と「農業」、また「環境」と「農業」の密接な関係を意識してもらい、農業への理解を深めるきっかけになることを願い補助教材本を作成し、全国のJAバンクから小学校へ贈呈されています。



関連するSDGsへの取り組み

- 1 貧困をなくそう
- 2 飢餓をゼロに
- 4 質の高い教育をみんなに
- 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに
- 8 働きがいも経済成長も
- 9 産業と技術革新の基盤をつくろう
- 10 人や国の不平等をなくそう
- 12 つくる責任 つかう責任
- 13 気候変動に具体的な対策を
- 17 パートナースhipで目標を達成しよう